



てきました。開会行事の前には星陵高校の合唱部によるCMソングや聞き馴染みのある歌があり、会長、来賓の挨拶の後、記念講演がありました。「PTA活動の活性化と家庭・学校・地域の連携強化～子どもを伸ばす親の気持ちの伝え方」というテーマから、会長からは「コミュニケーションは人間だけができる。コンピューターは閃かない。」

という話がありました。記念講演講師の村松順二氏からは「親子の生活の質を向上させる脳と言葉の使い方」というテーマで前向きな言葉の使い方や言葉の役割、コミュニケーションの取り方などを学びました。例えば①人は言葉で支配されることから朝起きたときに元気が出る言葉を使う習慣をつけると脳が元気になる②話をする人の見た目(表情、しぐさ、視線)55%、話し方(声の大きさ、口調)38%、言葉(話の内容)7%という聞き方をしていることを覚えておく③コミュニケーション上手は聴き上手(良い悪いを判断しないで聴く、共感する、期待する、賞賛する)ことを心掛けるといった内容を話されました。印象的だったのは、脳は否定的な言葉は入ってこないの、〇〇しないようにとか〇〇はダメという言い方は相手の脳には残らないということが言われました。難しいですが、そうだなと思われることもたくさんあり、話し方に工夫が必要だということを理解できました。貴重な講演を聞く機会をいただきました。

11月30日の新聞には、11月時点での中学生の進学希望調査が掲載されていました。本校は相変わらず強い関心を持っていただいているようで、普通科、生活科学科、体育科ともに大きく定員を超えていました。最終的にはどのような形になるかわかりませんが、関心を持っていただいていることに感謝し、しっかりと迎え入れる準備を進めたいと強く思いました。12月3日には中高連絡会議で、願書を配布してきます。体育科の入試説明会は12月6日に予定されており、体育科はその日に願書を配布します。

12月2日からは期末考査が始まりました。2学期のまとめとなります。生徒の皆さんは学習のまとめをしっかりとしてください。3学期は2年生の修学旅行に始まり、3年生は2月から自由登校になります。それぞれの学年で迎える令和2年は過ごし方も変わってきますが、より良いスタートを切るためにも整理をして、やるべきことをしっかりと見据えて取組みを進めてください。

考査後には、10日SNSトラブル未然防止講演会(篠原嘉一氏)、11日オリンピックパラリンピックムーブメント全国展開事業講演会(岡本圭司氏)があり、12日には3年生活科学科がフードコーディネート実習に京都甘春堂、山ばな平八茶屋に出かけます。13日には生活科学科2年が校外実習で神戸女子大、神戸国際調理製菓専門学校へ行かせていただいたり、2年看護医療類型は17日から19日まで北播磨の病院でインターンシップをさせていただいたり、1年看護医療類型は姫路獨協大学へ大学見学に行かせていただいたりします。授業時間を利用しての講演や、実習、見学等様々な経験を通していろいろな考え方ができるように、体験しないとわからないことを実感してもらるようにしています。篠原嘉一氏は予定を抑えるのが難しいくらい引っぱりだこでとても分かりやすくSNSのはまりやすい落とし穴を説明していただけるのでSNSの利用方法について考えることができます。岡本圭司氏は私の御影高校勤務時代の教え子(陸上部)ですが、高校卒業後大学でスノーボードをはじめ世界大会5位にまでなった選手です。スノボの魅力発信のためのビデオ撮影で急斜面を滑走中にコースを外れ大けがをし、歩くこともままならない状況から再びスノーボードを滑れるようになったという経緯を持つ方です。復帰に至るまでの苦労した話など聞けるのではないかと楽しみにしています。また3年生と面談をしているときにインターンシップの経験を語る生徒も多かったことから看護医療類型の生徒の皆さんにはぜひこの機会に現実的な看護の実態を学び、自らの興味関心を高めてきてほしいと思っています。

2学期末考査が終わっても盛りだくさんの社高校です。生徒の皆さんは大変なこともあるかと思いますが、自らの進路実現を果たすため、さらには部活動や学習での意欲的な取組みにより自らに磨きをかけるため教育活動のいろいろな機会を利用して考えを深めていってください。自ら工夫する、考える、実行することがこれから問われてきます。小さくまとまらずチャレンジ精神を持って頑張っていきましょう。